



Title	凡例
Citation	ツングース言語文化論集, 58, 12-13 佐藤チヨ演唱; 池上二良採録・解説; 山田祥子編訳; E. ビビコワ露訳; 津曲敏郎監修・序, ツングース言語文化論集シーゲーニ物語テキスト: ウイルタ長編英雄物語ニグマー = « 言語文化論集 = . 北海道大学文学研究科, 2014, 258p, (ツングース, 58).
Issue Date	2014-03-25
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/56215
Type	report
File Information	14remarks_ja.pdf



Instructions for use

凡 例

本書の構成について

- ・「ニグマー・テキスト I (ローマ字表記/日本語訳)」では、左枠にウイлта語原文(ローマ字音韻表記)、右枠に原文の通し番号に対応する日本語の訳を示す。
- ・「ニグマー・テキスト II (ロシア字表記/ロシア語訳)」では、左枠にウイлта語原文(ロシア字音韻表記)、右枠に原文の通し番号(上記テキスト I と同じ番号)に対応するロシア語の訳を示す。

ウイлта語原文について

- ・本書では池上(1997)にもとづくローマ字音韻表記(下記 / の左側)、および Ikegami et al. (2008) にもとづくロシア字音韻表記(下記 / の右側)を用いる。ローマ字音韻表記の *ɲ* に対応するロシア字音韻表記では本来 *ɲ* だが、本書では印刷の便宜のため *ɲ* に置き換える。

母音： a/a, ə/ə, o/o, ø/ø, u/y, i/и, e/e

(長母音の場合： aa/ā, əə/ē, oo/ō, øø/ē, uu/ū, ii/ī, ee/ē)

子音： p/п, b/б, t/т, d/д, č/ч, j/з, k/к, g/г, m/м, n/н, ɲ/ɲ, ŋ/ɳ,

l/л, r/р, s/с, x/х, w/в, j/j

- ・ウイлта語原文のローマ字音韻表記とロシア字音韻表記は、後述する[]の表示の有無を除いて、上記の対応関係にある。池上教授のノート(以下、「池上ノート」)に音声記号で手書きされたテキストを基本とし、一部、ビビコワ氏の聴取によって修正を加えた。

- ・文頭や固有名詞であっても大文字は使用しない。

- ・地の文に当たる語りの部分に対し、登場人物のせりふに当たる、節(ふし)をつけてうたわれる部分を太字で表わす。

- ・「ニグマー・テキスト I (ローマ字表記/日本語訳)」のウイлта語原文では、通常の発音にはないがうたうときに加えられる音(語頭の母音の前などに加えられる *n*, 語末に加えられる *i* など)を [] に入れて表わす。どの音素がこれに該当するかはビビコワ氏の解釈にしたがった。ただし「ニグマー・テキスト II (ロシア字表記/ロシア語訳)」では、ビビコワ氏の方針により、この音の表示を省略した。(ただし、母音を長くのばして発音する場合の母音は、そのかぎりではない。)

- ・うたわれる部分の節目に加えられるせりふの引用標識 *ɣuɲčəən* / *ɣuɲčəɲ* 「と言った」の後に続く *gəə/ rə* は、本来ニグマーの聞き手がはさむ合いの手であるが、この採録では合いの手をはさめる聞き手がいなかったため、佐藤氏が自ら加えたものと考えられる(ビビコワ氏の考察による)。

- ・通し番号で分けたのは便宜的なもので、必ずしも文の切れ目を表わすわけではない。
- ・イタリックは言いよどみ、または、言い間違いを表わす。

日本語訳とロシア語訳について

・ロシア語訳は、ビビコワ氏が自身のウイльта語およびエウエンキー語の知識、文献や周囲のエウエンキー語話者への聞き取りをもとに、意識として作成した。和訳は、ビビコワ氏による全文の露訳を参照しながら、池上ノートの所々にあるメモ書きを反映させて、山田が作成した。山田の日本語訳はウイльта語原文の逐語的な訳である。池上ノートのメモ書きの一部（とくにうたう部分のことばをウイльта語で説明したもの）は、出典を (i) とし脚注で補足する。

・語と語の間でしばしば加えられる *go/ ro* や *gə/ rə* などの間投詞、および、上述のイタリックで表わす言いよどみや言い間違いは、いずれのテキストでも訳出しない。

音声CDについて

・オリジナルの録音はカセットテープ（片面45分）の7面にわたって行われた。付属CDではこの7面に対応して、7つのファイルに分割されている。録音時間は各面46分～47分程度、最後の面（Ningmaa 7）のみ10分程度で、全体で4時間45分ほどである。最初のファイル Ningmaa 1の冒頭に佐藤チヨさんの声で “*tundadoo dəə anani xuju bee xori nada inəŋi əsinəŋi. Napka*” 「(昭和) 52年9月27日、きょうは。ナプカ」と、日時と名前が述べられる。各ファイルにおさめられた内容を、本文の通し番号で示すと以下のとおり（本文テキスト中では ◀ で音声ファイルの変わり目を示した）：

Ningmaa 1: 001-168

Ningmaa 2: 169-348

Ningmaa 3: 349-473

Ningmaa 4: 474-642

Ningmaa 5: 643-784

Ningmaa 6: 785-962

Ningmaa 7: 963-996

・ファイル形式はMP3であり、パソコンまたはMP3対応のCDプレーヤーで再生できる。

* 本CDを無断で複製・加工・再利用したり、Webなどで公開したりすることはご遠慮ください。